

■8月31日

復興航空、帯広—台北線運休、函館—台北線増便、冬季ダイヤ

復興航空が、週1便で運航している帯広—台北線の国際定期チャーター便を10月23日で休止することが30日、分かった。一方、函館—台北線の定期便を10月27日から、現在の週2往復を3往復に増便する冬季ダイヤを発表した。帯広線で使用していた機材を、台湾人観光客の利用が好調な函館線に振り向け、増強を図りたい考えだ。

同社は2008年6月に帯広へのチャーター便運航を開始。2012年7月から毎週水曜日、週1往復の定期チャーター便とし、今年1月、機材をエアバスA321(客席数182席)から同A330(同300席)に大型化した。しかしながら、同路線の平均搭乗率は、2012年度の65・9%に対し、13年度は59・5%(28日現在)と低迷していた。

一方、函館路線は復興航空が昨年9月、台湾のエバー航空が同10月にそれぞれ定期便の運航を開始した。函館など道南を訪れる台湾人観光客の増加を反映し、今年7月の同路線の利用客数は約1万1600人。チャーター便のみの運航だった前年同月の2.5倍に膨らんでいるという。

復興航空では同路線の最近の搭乗率が約70%と安定しており、増便により現在週4往復のエバーに対抗する。

(北海道新聞)8/30

<http://www.hokkaido-np.co.jp/news/economic/488688.html> (-> <http://www.hokkaido-np.co.jp/news/economic/488688.html>)

(日経)8/30

<http://www.nikkei.com/article/DGXNZO59123440Q3A830C1L41000/> (->

<http://www.nikkei.com/article/DGXNZO59123440Q3A830C1L41000/>)

北海道、2012年度、観光客数、前年度比11%増、外国人客39%増

北海道庁が30日発表した2012年度の観光入り込み客数は5098万人と前年度比で11%増えた。格安航空会社(LCC)を含めた航空路線の拡充や、高速道路が延伸された効果が出た。東日本大震災の影響も一巡し、2010年度(5127万人)並みの水準にほぼ回復した。日経が報じた。

内訳は道内客が10%増の4475万人、道外客が12%増の544万人、外国人客が39%増の79万人だった。

また、外国人客は台湾が28万800人と最も多く、前年度比で47%増えた。2位の韓国は38%増の12万3600人。昨秋に新千歳空港に定期便が就航したタイは3.8倍の3万7000人と大幅に増加した。

(日経)8/30

<http://www.nikkei.com/article/DGXNZO59123400Q3A830C1L41000/> (->

<http://www.nikkei.com/article/DGXNZO59123400Q3A830C1L41000/>)

ユナイテッド航空、サンフランシスコ—成都線、ボーイング787で就航申請

ユナイテッド航空は29日、サンフランシスコと四川省・成都を結ぶ直行便の申請を米国運輸省に提出し、ボーイング787ドリームライナーが来年6月にも運航開始の予定であることを明かにした。CRJ ONLINEが伝えた。

同便は、週3便で運航され、フライト時間は13時間50分。

(CRJ ONLINE)8/30

<http://japanese.cri.cn/881/2013/08/30/181s212176.htm> (-> <http://japanese.cri.cn/881/2013/08/30/181s212176.htm>)

ベトジェットエア(LCC)、国内線4路線、新規就航

(viet-jolによると)

ベトジェットエアは28日、年内に新たに4つの国内線を就航する計画を明らかにした。27日付ベトナムプラスが報じた。

それによると、同社は年末までに、◇ホーチミン～フエ線、◇ホーチミン～クイニョン線、◇ハノイ～バンメトート線、◇ハノイ～フエ線の4路線を就航する。

このうち、ホーチミン～フエ線は、フーバイ空港の滑走路補修工事完了にあわせて9月20日に就航し、週14往復で運航する。また、ハノイ～フエ/バンメート線は10月15日に就航。ホーチミン～クイニョン線は11月1日に就航する予定

(vieto-jp) 8/30

<http://www.viet-jo.com/news/tourism/130828110403.html> (-> <http://www.viet-jo.com/news/tourism/130828110403.html>)

ティーウェイ航空(LCC)、佐賀ー仁川線、12月20日就航、週3便

佐賀県は30日、ティーウェイ航空の佐賀ー仁川線の就航日が12月20日に決まったと発表した。同航空が28日、国交省に路線開設を申請。運航日は水、金、日曜日の週3便。

佐賀新聞によると、発着時間は全便同じで、佐賀発午後5時10分ーソウル(仁川(インチョン)国際空港)着同6時半、ソウル発午後2時50分ー佐賀着同4時10分。チケットの発売開始日と運賃は未定。

県は、佐賀空港に建設中の国際線専用ターミナルについて、ソウル便の就航前に完成させたいとしている。

(佐賀新聞) 8/31

<http://www.saga-s.co.jp/news/saga.0.2543074.article.html> (-> <http://www.saga-s.co.jp/news/saga.0.2543074.article.html>)